



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日阪製作所  
コード番号 6247 URL <http://www.hisaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長

(氏名) 波多野 浩史

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 06-6363-0007

平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,779	10.7	710	3.1	819	△14.1	462	△27.9
27年3月期第2四半期	11,543	△0.7	689	△42.8	954	△32.3	641	△33.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △2,255百万円 (△293.2%) 27年3月期第2四半期 1,167百万円 (△56.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	15.51	—
27年3月期第2四半期	21.49	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	59,777	48,409	81.0	1,620.95
27年3月期	63,252	50,963	80.5	1,706.50

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 48,395百万円 27年3月期 50,949百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	2.5	1,450	8.0	1,750	△4.5	1,170	△11.0	39.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	32,732,800 株	27年3月期	32,732,800 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,876,866 株	27年3月期	2,876,635 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	29,856,019 株	27年3月期2Q	29,856,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報(IR情報)	11
(1) セグメント別売上高	11
(2) セグメント別受注高及び受注残高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済が牽引したものの、中国経済の減速懸念とこれを契機とした株式市場の不安定化や新興国の景気停滞など、不透明な状況で推移いたしました。一方、わが国経済は、大企業を中心とした業績回復や雇用環境の改善、設備投資需要の向上もあり、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、国内の設備投資需要の取り込みや海外プラント案件に注力するとともに、中期経営計画「G-14」における成長戦略として、国内営業一部の大坂駅近傍への移転や九州・北九州支店の開設準備を進めました。また、生活産業機器事業におけるタイ駐在員事務所の開設やその他事業における中国の華東・華南地区の営業・サービス強化を目的とした広州分公司・南京営業所の開設を行いました。

以上の結果、当社グループの内部取引消去後の受注高は、熱交換器事業での海外案件や国内におけるメンテナンス需要が堅調であったこと、また生活産業機器事業での染色仕上機器の大口受注が寄与したことから、12,969百万円（前年同期比100.9%）となりました。

売上高は、熱交換器事業での海外大口案件の売上計上や基盤機種の上昇拡大、バルブ事業の海外売上上の回復、その他事業のマイクロゼロ株式会社のプラント売上等があったことにより、12,779百万円（同110.7%）となりました。

利益面では、一部低採算案件があったことや人材投資による固定費増加等があったものの、売上の増加要因に加え、円安による競争力改善等があったこともあり、営業利益は710百万円（同103.1%）となりました。経常利益は海外現地通貨の下落による為替差損を計上したこともあり、819百万円（同85.9%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、本社移転費用を特別損失に計上したこともあり、462百万円（同72.1%）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

## &lt;セグメント別概況&gt;

## 『熱交換器事業』

当事業の受注は、東京再開発案件での空調や、大型コンテナ船・LNG船の大型受注及び海外案件が好調に推移し、前年同期を上回りました。

売上は、好調な受注環境による基盤機種の上昇増加や海外大型案件の売上計上が寄与し、前年同期を大幅に上回ることであります。

セグメント利益は、営業戦略上受注した低採算の海外大口案件の売上計上があったものの、上述の売上増加や円安による採算改善もあり、前年同期を上回ることが出来ました。

以上の結果、当事業の受注高は6,406百万円（前年同期比117.5%）、売上高は6,143百万円（同121.7%）、セグメント利益は453百万円（同141.4%）となりました。

## 『生活産業機器事業』

当事業の受注は、RCS（レトルト調理殺菌装置）や周辺自動化装置、国内外でのサーキュラー染色機の大型案件受注がありましたが、医薬機器における輸液滅菌機関連の大型案件延期により、前年同期を下回ることとなりました。

売上は、医薬機器で若干の落ち込みがあったものの、食品・染色機器関連でカバーすることが出来、前年同期と同水準となりました。

セグメント利益は、先行人材投資による間接費の増加等が影響し、前年同期を下回ることとなりました。

以上の結果、当事業の受注高は4,416百万円（前年同期比89.3%）、売上高は4,531百万円（同100.0%）、セグメント利益は317百万円（同86.1%）となりました。

## 『バルブ事業』

当事業の受注は、化学・鉄鋼・電力向けで堅調に推移したものの、中・小口案件が中心で大口案件が少なかったこともあり、前年同期を下回ることとなりました。

売上は、環境関連や中国向け大型案件の売上が寄与したこともあり、前年同期を上回ることであります。

セグメント利益は、売上増加の影響や売価改善効果もあり、前年同期を上回ることであります。

以上の結果、当事業の受注高は1,727百万円（前年同期比92.9%）、売上高は1,732百万円（同109.7%）、セグメント利益は53百万円（同517.5%）となりました。

## 『その他事業』

当事業は、国内外の子会社事業及び発電事業であります。

受注は、中国の景気減速により現地子会社が依然低水準で推移し、また国内子会社においても大口案件が少なかったものの、マレーシア子会社が比較的好調に推移したことや、買収した海外子会社の受注獲得があったことから、前年同期を上回ることであります。

売上は、海外子会社が伸び悩んだものの、国内子会社において機能性食品プラント案件等を計上したことにより、前年同期を若干上回ることとなりました。

セグメント利益は、マレーシア子会社及び国内子会社が利益を確保したものの、中国子会社の損失が拡大したことから厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当事業の受注高は1,260百万円（前年同期比102.3%）、売上高は1,129百万円（同105.1%）、セグメント損失は78百万円（前年同期は3百万円のセグメント利益）となりました。

なお、セグメント別概況は内部取引消去前の金額であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は59,777百万円となり、前連結会計年度末63,252百万円から3,475百万円の減少となりました。

これは、受取手形及び売掛金192百万円やのれん172百万円等の増加があったものの、投資有価証券3,705百万等の減少が上回ったことによります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は11,368百万円となり、前連結会計年度末12,289百万円から920百万円の減少となりました。

これは、仕入債務385百万円や未払法人税等139百万円等の増加があったものの、繰延税金負債1,032百万円等の減少が上回ったことによります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は48,409百万円となり、前連結会計年度末50,963百万円から2,554百万円の減少となりました。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円の計上があったものの、その他有価証券評価差額金2,236百万円等の減少が上回ったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、中川工程顧問（上海）有限公司を買収したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更

#### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,237,357	9,229,659
受取手形及び売掛金	8,628,723	8,820,925
有価証券	1,002,896	1,002,564
商品及び製品	1,884,515	1,936,601
仕掛品	1,764,976	1,644,849
原材料及び貯蔵品	1,101,721	1,134,505
繰延税金資産	501,329	510,315
その他	1,136,248	1,281,791
貸倒引当金	△3,038	△3,358
流動資産合計	25,254,728	25,557,854
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,757,406	7,600,123
機械及び装置(純額)	2,046,186	1,906,995
その他(純額)	2,215,596	2,254,830
有形固定資産合計	12,019,189	11,761,949
無形固定資産		
ソフトウェア	158,516	163,696
のれん	—	172,764
その他	116,981	136,035
無形固定資産合計	275,497	472,496
投資その他の資産		
投資有価証券	22,628,658	18,922,680
長期貸付金	580,000	580,000
退職給付に係る資産	1,546,082	1,628,138
その他	1,541,356	1,446,893
貸倒引当金	△592,648	△592,385
投資その他の資産合計	25,703,450	21,985,327
固定資産合計	37,998,137	34,219,772
資産合計	63,252,865	59,777,626

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,379,109	5,764,430
短期借入金	90,000	—
未払法人税等	100,337	239,456
製品保証引当金	213,732	192,932
賞与引当金	467,347	492,290
その他	1,572,322	1,191,010
流動負債合計	7,822,848	7,880,121
固定負債		
繰延税金負債	4,402,860	3,370,453
退職給付に係る負債	56,387	57,262
その他	7,314	60,647
固定負債合計	4,466,562	3,488,364
負債合計	12,289,411	11,368,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,814,450	8,814,450
利益剰余金	30,488,470	30,652,880
自己株式	△2,406,578	△2,406,833
株主資本合計	41,046,342	41,210,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,867,164	6,631,009
繰延ヘッジ損益	△5,621	2,738
為替換算調整勘定	478,259	108,814
退職給付に係る調整累計額	563,478	442,037
その他の包括利益累計額合計	9,903,281	7,184,600
非支配株主持分	13,830	14,042
純資産合計	50,963,454	48,409,141
負債純資産合計	63,252,865	59,777,626

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,543,407	12,779,849
売上原価	9,045,891	10,072,373
売上総利益	2,497,515	2,707,476
販売費及び一般管理費	1,808,035	1,996,933
営業利益	689,480	710,542
営業外収益		
受取利息	37,352	65,734
受取配当金	147,987	121,373
為替差益	70,389	—
その他	20,300	14,088
営業外収益合計	276,030	201,196
営業外費用		
支払利息	1,416	642
持分法による投資損失	4,524	2,341
為替差損	—	87,245
その他	5,289	1,839
営業外費用合計	11,231	92,069
経常利益	954,278	819,669
特別損失		
固定資産除売却損	2,888	6,242
本社移転費用	—	38,539
特別損失合計	2,888	44,782
税金等調整前四半期純利益	951,389	774,886
法人税、住民税及び事業税	158,833	248,769
法人税等調整額	150,693	62,933
法人税等合計	309,526	311,702
四半期純利益	641,863	463,184
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,701	462,971



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	641,863	463,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	592,415	△2,236,155
繰延ヘッジ損益	343	8,359
為替換算調整勘定	△19,618	△368,445
退職給付に係る調整額	△47,565	△121,440
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△999
その他の包括利益合計	525,602	△2,718,680
四半期包括利益	1,167,466	△2,255,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,167,304	△2,255,708
非支配株主に係る四半期包括利益	162	212

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	951,389	774,886
減価償却費	542,184	525,708
のれん償却額	—	33,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,496	56
製品保証引当金の増減額(△は減少)	36,200	△20,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,711	24,850
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△380,670	△263,363
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	875
受取利息及び受取配当金	△185,339	△187,108
支払利息	1,416	642
為替差損益(△は益)	△63,069	60,507
持分法による投資損益(△は益)	4,524	2,341
固定資産除売却損益(△は益)	2,888	6,242
本社移転費用	—	38,539
売上債権の増減額(△は増加)	76,599	△236,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	△736,635	4,813
仕入債務の増減額(△は減少)	907,122	400,605
前受金の増減額(△は減少)	△109,357	△393,633
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,478	80,149
未収入金の増減額(△は増加)	976,862	4,952
その他	△384,475	44,182
小計	1,632,370	902,189
利息及び配当金の受取額	191,042	189,512
利息の支払額	△1,416	△642
法人税等の支払額	△250,740	△109,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,571,256	981,195
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,300	△100,300
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
固定資産の取得による支出	△584,138	△524,557
投資有価証券の取得による支出	△501,593	△501,172
投資有価証券の売却による収入	800,000	906,535
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の取得による収入	—	24,652
短期貸付金の増減額(△は増加)	△38,000	△286,000
長期貸付金の回収による収入	60,000	—
保険積立金の積立による支出	△263,087	△3,244
保険積立金の払戻による収入	164,527	1,787
その他	4,068	△5,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,523	△387,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
リース債務の返済による支出	△7,440	△7,599
自己株式の取得による支出	△1,410	△255
配当金の支払額	△297,828	△299,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306,679	△397,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,513	△203,372
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	934,567	△7,698
現金及び現金同等物の期首残高	7,351,900	9,129,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,286,467	9,121,821

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	生活産業 機器	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,565,665	4,497,551	1,492,670	10,555,888	987,518	11,543,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483,642	35,990	86,232	605,865	87,397	693,262
計	5,049,307	4,533,542	1,578,903	11,161,753	1,074,916	12,236,670
セグメント利益	320,470	368,687	10,351	699,508	3,618	703,127

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、海外拠点における事業及び発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	699,508
「その他」の区分の利益	3,618
のれんの償却額	—
棚卸資産の調整額	△23,756
その他の調整額	10,108
四半期連結損益計算書の営業利益	689,480

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	生活産業 機器	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,640,730	4,508,115	1,654,578	11,803,424	976,425	12,779,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	502,514	23,460	78,155	604,130	153,246	757,376
計	6,143,245	4,531,575	1,732,733	12,407,554	1,129,671	13,537,225
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	453,299	317,286	53,564	824,151	△78,790	745,360

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、海外拠点における事業及び発電事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	824,151
「その他」の区分の利益	△78,790
のれんの償却額	△33,904
棚卸資産の調整額	7,375
その他の調整額	△8,288
四半期連結損益計算書の営業利益	710,542

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」セグメントにおいて、中川工程顧問(上海)有限公司を買収し、連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しております。当第2四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は172,764千円であります。

4. 補足情報 (IR情報)

(1) セグメント別売上高

(単位：百万円)

項目	前四半期 平成26年4月～平成26年9月		当四半期 平成27年4月～平成27年9月		増減金額	前年同期比	(参考) 前連結会計年度 平成26年4月～平成27年3月	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
熱交換器	( 815 ) 5,049	( 6.7 % ) 41.3	( 1,874 ) 6,143	( 13.8 % ) 45.4	( 1,058 ) 1,093	( 229.9 % ) 121.7	( 1,995 ) 10,477	( 7.7 % ) 40.3
生活産業機器	( 1,120 ) 4,533	( 9.2 ) 37.0	( 866 ) 4,531	( 6.4 ) 33.5	( △253 ) △1	( 77.4 ) 100.0	( 2,114 ) 9,166	( 8.1 ) 35.3
バルブ	( 163 ) 1,578	( 1.3 ) 12.9	( 259 ) 1,732	( 1.9 ) 12.8	( 96 ) 153	( 158.9 ) 109.7	( 354 ) 3,317	( 1.4 ) 12.8
その他	( 691 ) 1,074	( 5.6 ) 8.8	( 673 ) 1,129	( 5.0 ) 8.3	( △18 ) 54	( 97.4 ) 105.1	( 1,707 ) 3,028	( 6.5 ) 11.6
小計	( 2,790 ) 12,236	( 22.8 ) 100.0	( 3,674 ) 13,537	( 27.1 ) 100.0	( 883 ) 1,300	( 131.7 ) 110.6	( 6,171 ) 25,989	( 23.7 ) 100.0
連結調整額	( △378 ) △693	( - ) -	( △394 ) △757	( - ) -	( △16 ) △64	( - ) -	( △993 ) △1,591	( - ) -
合計	( 2,412 ) 11,543	( - ) -	( 3,279 ) 12,779	( - ) -	( 867 ) 1,236	( 136.0 ) 110.7	( 5,177 ) 24,398	( - ) -

注1. ( )は海外売上高で内書であります。

2. 各セグメントの売上高は、連結調整前の金額であります。

3. 「その他」は、サンタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、海外拠点における事業及び発電事業であります。

(2) セグメント別受注高及び受注残高

(単位：百万円)

項目	前四半期 平成26年4月～平成26年9月		当四半期 平成27年4月～平成27年9月		増減金額	前年同期比	(参考) 前連結会計年度 平成26年4月～平成27年3月		
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	
受注高	熱交換器	( 1,369 ) 5,453	( 10.1 % ) 40.4	( 1,830 ) 6,406	( 13.3 % ) 46.4	( 461 ) 953	( 133.7 % ) 117.5	( 2,942 ) 11,408	( 11.0 % ) 42.5
	生活産業機器	( 929 ) 4,947	( 6.9 ) 36.7	( 993 ) 4,416	( 7.2 ) 32.0	( 63 ) △ 531	( 106.9 ) 89.3	( 1,640 ) 9,243	( 6.1 ) 34.5
	バルブ	( 235 ) 1,859	( 1.7 ) 13.8	( 208 ) 1,727	( 1.5 ) 12.5	( △ 27 ) △ 132	( 88.4 ) 92.9	( 465 ) 3,570	( 1.7 ) 13.3
	その他	( 624 ) 1,232	( 4.6 ) 9.1	( 901 ) 1,260	( 6.5 ) 9.1	( 277 ) 28	( 144.5 ) 102.3	( 1,521 ) 2,613	( 5.7 ) 9.7
	小計	( 3,158 ) 13,492	( 23.4 ) 100.0	( 3,934 ) 13,811	( 28.5 ) 100.0	( 775 ) 318	( 124.6 ) 102.4	( 6,569 ) 26,835	( 24.5 ) 100.0
	連結調整額	( △ 329 ) △ 643	( - ) -	( △ 490 ) △ 841	( - ) -	( △ 161 ) △ 197	( - ) -	( △ 829 ) △ 1,443	( - ) -
	合計	( 2,829 ) 12,848	( - ) -	( 3,443 ) 12,969	( - ) -	( 614 ) 120	( 121.7 ) 100.9	( 5,740 ) 25,391	( - ) -
受注残高	熱交換器	( 1,920 ) 3,666	( 20.9 ) 39.8	( 2,269 ) 4,457	( 25.0 ) 49.2	( 349 ) 790	( 118.2 ) 121.6	( 2,313 ) 4,193	( 26.3 ) 47.7
	生活産業機器	( 577 ) 3,538	( 6.3 ) 38.5	( 421 ) 3,085	( 4.7 ) 34.0	( △ 156 ) △ 452	( 73.0 ) 87.2	( 295 ) 3,201	( 3.3 ) 36.4
	バルブ	( 198 ) 874	( 2.1 ) 9.5	( 185 ) 841	( 2.0 ) 9.3	( △ 13 ) △ 32	( 93.2 ) 96.2	( 237 ) 846	( 2.7 ) 9.6
	その他	( 476 ) 1,122	( 5.2 ) 12.2	( 585 ) 680	( 6.5 ) 7.5	( 109 ) △ 441	( 123.0 ) 60.6	( 357 ) 550	( 4.1 ) 6.3
	小計	( 3,173 ) 9,201	( 34.5 ) 100.0	( 3,462 ) 9,064	( 38.2 ) 100.0	( 289 ) △ 137	( 109.1 ) 98.5	( 3,202 ) 8,791	( 36.4 ) 100.0
	連結調整額	( △ 254 ) △ 254	( - ) -	( △ 235 ) △ 240	( - ) -	( 19 ) 14	( - ) -	( △ 139 ) △ 155	( - ) -
	合計	( 2,918 ) 8,946	( - ) -	( 3,227 ) 8,824	( - ) -	( 308 ) △ 122	( 110.6 ) 98.6	( 3,063 ) 8,635	( - ) -

注1. ( )は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。

2. 各セグメントの受注高及び受注残高は、連結調整前の金額であります。

3. 「その他」は、サンタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、海外拠点における事業及び発電事業であります。